

# おあしす



特定医療法人 南山会

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな  
・アルプス訪問看護ステーション

2026

3

第40巻3号  
(通巻463号)



—— 峡西病院の理念 ——

「その人らしさをともに創造する」

人生の新しい目的や意味を一緒に考え、  
より良い人生を伴走していく

## ケアする病院ネットワーク研修会

〜認知症患者さまの尊厳と

価値観を重視したケア〜

高齢化の進行に伴い、認知症の方が年々増えていきます。認知症は、物事を正しく理解したり判断したりする力が制限されてしまう病気で、医療機関で身体的な治療を行う際、治療に必要な点滴を抜いてしまったり、転倒の危険がある状況で歩き出してしまったりすることがあります。こうした場合、医療機関は患者さんの安全を守るために身体拘束を行う場合があります。

拘束は、身体機能の低下や精神的な負担につながり、さらなる拘束を招くという悪循環に陥るリスクがあります。

こうした課題を受け、患者さん一人ひとりの尊厳や価値観を大切にしながらケアを実践する全国の医療機関が連携し、昨年2月に「ケアする病院ネットワーク」を立ち上げました。当院も発起人病院の一つとして参加し、全国の医療機関と学びを共有しています。

ネットワーク発足から約1年にわたり、全国の発起人病院の先進的な取り組みを相互に学び合いました。その成果を踏まえて2月3日、東京都

内で研修会が開催され、理事長、院長の川崎もシンポジストとして登壇しました。

研修では、身体拘束に頼らないケアの工夫や、多職種が連携して患者さんを支える実践例が紹介され、活発な意見交換が行われました。当院もこれらの学びを日々の医療に生かし、患者さんの人生に寄り添うケアを今後も大切にしていまいります。



## 国立精神・神経医療研究センターへ

見学に行ってきました

1月14日、東京都小平市にある国立精神・神経医療研究センター（NKNP）へ、リハビリテーション部の成田が見学に行ってきました。リハビリを目指す認知療法（CTIR）の実践・研究に触れ、当院での実践に活かすことが目的です。

CTIRは、アロン・T・ベック先生やポール・グラント先生らによって開発された、リカバリー志向の精神療法です。当院では、「その人らしさをともに創造する」という理念を掲げ、利用される方のパーソナル・リカバリーを支援しています。当院の理念と親和性が高い精神療法の展開に、可能性を感じています。

見学では、NKNP病院で実施されている、ショートケア「こころケア」プログラムに参加させていただいたり、第1線で研究・実践に取り組んでおられる先生方から、お話をうかがうことができました。大変貴重な経験になりました。

CTIRでは、アスピレーション（aspirations）という、その人の身近な夢や喜びに目を向けています。その人がその人らしくなれる活動を、信頼できる誰かと一緒に取り組むことを重視し、人とのつながりを大切にしています。今回の見学で、私自身も新しい仲間とつながることができ、仲間から多くのエネルギーをもらいました。

当院では、入院・外来を問わず、その

人がリカバリーの過程を歩めるよう、各種のプログラムを充実させています。

今後CTIRの概念を取り入れていくことで、さらなる支援の充実が図ればと考えています。

余談ですが、お土産に何を持っていくかと、あれこれ考える時間はとても楽しいものです。今回のお土産選びでは、ああでもないこうでもないとおれこれお店の前で迷いつつも、結局は山梨県の定番と言えるお土産に落ち着きました。先方に喜んでいただけただけはわかりませんが、こうしたお土産選びの過程を楽しみました。

プログラムをご一緒させていただいた参加者のみなさま、見学・対応をいただいたNKNP病院精神リハビリテーション部のみなさま、認知行動療法センターのみなさまに、心から感謝いたします。

リハビリテーション部

心理グループ 成田



# 令和6年度 幸せ発表会

## ◆業績賞◆

アスピール病棟  
石川 純子

### 緊急対応に迅速な対応ができる

#### 背景

緊急対応と言う枠組みが導入され期待と現実のギャップに思い悩んでいました。以前の外来業務で、地域連携室から受診の相談を受け、当番医師や病棟へ受け入れ相談をする立場にあった頃、緊急対応の担当医から「対応できない」と言われることが多く、緊急対応表の機能不全や人員不足による病院側の受け入れ体制に大きな問題を感じていました。令和5年度、地域連携室業務で、直接的に当事者や関係者の声を聞く立場にあり、誰の困り事か、すぐ入院が必要か、支援の工夫で今の困難を乗り越えられそうか、など、精神科受診の緊急性を調整する必要があると感じました。さらに、運営会議に参加する立場にあり、病院経営状況や病床稼働率、回転率にも問題を感じていました。

#### 目標

そのような思いがあり、「緊急対応に迅速な対応ができる」を目標に掲げました。

#### 特に力を入れたこと

取り組みにあたり、「素早い報連相」「話し合い」「当事者にとつての最善策」に注力しました。

#### 具休策

- ・「素早い報連相」  
電話相談を受け、部内で協議、すぐに緊急担当医や病棟担当医、診療部長と話し合い、対応時間を確保してもらいました。
- ・「話し合い」  
病棟の人員不足問題に対して、病棟側が受け入れできる日程を事前に調整しました。
- ・「当事者への最善策」  
入院病棟を迷う場合や入院までの待機日数が長期化する場合は、外来診療を挟む体制を整えました。

#### 結果

・「素早い報連相」  
相談者から、「すぐに入院できなくて早く診てもらえてホッとした」と声をいただくことができました。令和6年度全相談件数127件

のうち、相談を受けてから初診までの期間は、平均12日の早期対応を叶えることができました。

#### ・「話し合い」

週1度開催されるベッドコントロール会議では、入院調整を行いました。忙しい業務運営の中で、多職種が一堂に会する機会の為、有意義な時間となるよう努めました。相談元と入院に求める問題をすり合わせ、入院の目的を明確にしてみました。その結果、「入院の目的や治療方針を納得した上で受け入れでき」と病棟職員から声をいただくことができました。

認知症の入院待機者の解消策として、看護業務委員会へ入院患者の病棟間移動を働きかけました。老人保健施設職員のベッドコントロール会議参加を働きかけ、参加が実現しました。

精神科急性期病棟での認知症患者の受け入れをしていただき、認知症患者入院年間目標100件を超える、105件の新規入院を達成しました。

入院している患者さんには、骨折治療、胃瘻造設、肺炎治療など精神科以外の治療が必要で、他病院へ転院される方がいました。一方、一般病院から精神科の治療のために転院されてくる方もいました。そのような転入院調整では、切れ目のない医療提供のために、当院リハビリ職員や栄養士、他病院職員と意見交換を重ねてきました。嚥下訓練や経腸栄養剤、ポジショニングなど様々な話し合いを行ってきました。

その結果、職種間で新たな気付き

や病院内外の関係性が生まれました。こうして、患者さんをトータルサポートしていくために多くの話し合いを重ね、お互いの意見のずれを埋めるよう解決策を考えることで、多職種の連携強化を図り、入院調整を実現できました。これは、当院が大事にしてきた多職種連携や共同意思決定を体現するものだと思います。

#### ・「当事者にとつての最善策」

病院の経営状況が赤字続きであっても、入院を増やすことだけを最大の目的とはしませんでした。当事者家族や他医療機関、施設職員、ケアマネジャーから、入院に求められることや当院で対応できることのすり合わせを重ねました。

受診や入院までに時間を要する方には、介護方法の助言を行い、認知症で悩むご家族には認知症を学ぶ機会を提供しました。

#### 結果

下半期は緊急対応枠の縮小や病棟の慢性的な満床により、対応率は50%に留まりました。この結果から、地域の声を半分お断りしているという問題が見えました。依頼された入院相談に迅速に対応するためには、在院日数短縮や退院支援の強化、効率的な病床管理を実践する必要があります。

今後は、その必要性を現場で業務にあたるスタッフが意識し、病院運営に参画しやすくなるような、院内外の連携をマネジメントする役割が求められていると感じています。

1月27日(火)にブリエ病棟では新年会を行い、おかめの福笑いをしました。目隠しをした人が、おかめの目、鼻、口など、周りの人の上下左右の声の誘導でパーツを置いていき、滑稽なおかめに、大笑いもありました。笑った後は、レモンティーと、チョコレートホイップでデ

コレーションしたロールケーキを、おいしくいただきました。



## OT・PT だより

### 新春運試しゲーム大会

1月29日(木)にレク委員会主催の行事で、新春運試しゲーム大会が開催されました。福引き、おみくじ、サイコロゲームを行いました。福引きでは、赤玉がでたらチョコババロアが当たり、おみくじでは、大吉がでたら大吉サイコロ(5/6の確率)をふり、小吉がでたら小吉サイコロ(3/6の確率)をふり、当たりが出たら袋詰めお菓子が当たりました。たくさんのお菓子で、大当たりを喜んでいただきました。はずれでも、うまい棒をいただき、参加賞のお汁粉か甘酒を飲みながら、楽しいひと時をすごしました。

## リハビリテーションセンターだより

### Q & A

**Q** 利用する曜日は、どのように決まりますか？

**A** 峡西病院リハビリテーションセンター(以下リハセン)は曜日登録制です。月曜から土曜日まで、週6日開催しています。

利用の目的に応じて、主治医やリハセンスタッフと相談しながら、利用する曜日を決めていきます。

リハセンの利用時間は6時間(デイケア)が基本ですが、3時間(ショートケア)の利用も可能です。

体調や自分のペースに合わせて、活動スケジュールを検討することができます。リハビリテーションの進み具合に応じて、登録曜日を増やすなどの調整も可能です。

夢や希望の実現に向けて、どのようにリハセンを利用することが望ましいか、どのプログラムに参加すればいいのかなど、利用される方とともに話し合う時間を大切にしています。

## プログラム紹介

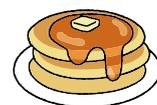
### 新プログラム(名称は後日決まる予定)

【活動曜日】 毎月第一火曜日午後

【活動内容】

「つながる、ひろがる」交流プログラムが今年一月から開始しました。一月には「褒め合いワークショップ」を行いました。照れ臭そうに、でも嬉しそうに自分や相手の良さを見つける時間は優しい空気で包まれました。二月はみんなでホットケーキを焼きました。自分のためではなく、「誰かのために作る」喜びと、甘い香りに誘われて、自然と会話が弾むひとときとなりました。

特別な技術や知識は必要なく、ただそこにいて誰かと笑いあう「心の休憩所・交流所」を目指しています。



興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで気軽にご相談ください。 ☎055-282-2151

\*ホームページをぜひ、ご覧ください。

峡西病院 リハビリのご案内 検索

# ろうけんTimes

今月の TOPICS★

## 3F 通所リハビリ



1月に「書初め」、2月には「節分会」を行いました(^^) 節分会では、「恵方巻ゲーム」(タオルに具を巻き、黒画用紙で包む)、「全部倒すまで豆まきゲーム」(2人ペアでお手玉を投げ、鬼の絵を倒す鬼退治ゲーム)をしました☆真剣な表情で鬼退治を行っており、恵方巻ゲームでは素早く巻く方、丁寧に巻く方もおり個性が出ていました♪ これからも四季折々の行事を大切に、皆様の笑顔あふれる毎日をサポートしてまいります(\*^-^\*)



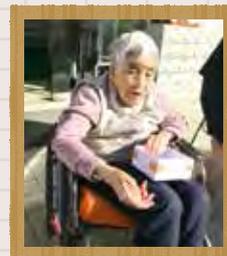
## 2F 認知症専門棟



もうすぐ3月の節句ということで2階では雛飾りをお花紙で作りました★ 職員が模造紙に下書きを書き、それにあわせ丁寧に咲かせた色とりどりの花を飾りました(^o^) 完成した雛飾りに皆さん満足そうに見入っていました♪ 日本の四季の行事は忘れえぬ若かりし日の記憶かもしれませんね(\*^-^\*)

## 1F 一般棟

「節分の豆まき」を開催しました☆ 当日は外の寒さが厳しく、鬼の登場はありませんでしたが、「鬼は外！福は内！」の掛け声に笑顔で豆を手に取り、今年一年の無病息災を願う姿が印象的でした♪ 邪気を払い、たくさんの福を呼び込んだ一日。今年も多くの福が訪れますように(\*^-^\*)



\* 峡西老健のホームページもご覧ください。

峡西老健 検索



峡西老健の理念

優 優しさ

友 友愛

結 人と人

～あなたに優しく、あなたを想い、あなたと結ぶ～

# 本の紹介コーナー

今回は、ATさんにおすすめの本を聞きました！

## 本の題名：言語化の魔力

(作者：樺沢紫苑／出版社：幻冬舎／出版年月日：2022年)

### ●読んだきっかけは？

仕事で感じたモヤモヤをうまく言葉にできずにいたとき、同僚から「これ読むと気持ちが整理されるよ」と勧められたのがきっかけでした。書店でも平積みされていて、タイトルの“言語化”という言葉に惹かれて手に取りました。

### ●おすすめのポイントは？

この本は、日々のコミュニケーションで感じる「伝わらない」「うまく言えない」という悩みに寄り添いながら、言葉にすることで気持ちが軽くなるプロセスを丁寧に示してくれます。

著者の実体験をもとにしたエピソードは読みやすく、「言葉にすることは、自分を理解することでもある」というメッセージが心に残ります。医療・介護の現場で働く方にとっても、患者さんやご家族との関わりに役立つヒントが多く、日常のコミュニケーションを少し前向きにしてくれる一冊です。

特定医療法人南山会は常によりよい医療を行うことによって、地域社会に貢献することを目的として設立されたものである。職員は常に技術の向上に心掛けるとともに、知性を磨き品性を養い、自己の人間形成に努めるべきである。

### ■ 職業倫理

1. 患者の人格の尊厳と権利を尊重し、心のこもった対応をして信頼を得ること。
2. 最善の医療を提供するために、常に学術的知識と技術の習得に努めること。
3. 自らの義務と責任を自覚して人格を高めること。
4. 職場内外の医療専門職の権利を尊重すること。
5. 医療の公共性を重んじて地域社会に貢献するとともに、法規範を遵守すること。
6. 良質の医療を提供するために、自ら心身の健康保持と増進に努めること。
7. 精神障害者に対する理解を深め、精神障害者とその障害を克服して社会復帰をし、自立と社会経済活動への参加をしようとする努力に対して協力すること。

今冬季オリンピックが開催されており、どのテレビ番組を見てもオリンピックの話で持ちきりですね。掲載される頃には終わっていると思います。何かに打ち込める人達を見てるとかっこいいなと思いつつ応援していました。今回私の趣味を頼まれてから自分の趣味って何だろうかと考え、面白い物や自分磨きと色々思い浮かびましたが「グルメ」が一番自分にとって幸せな時だと思いました。グルメが趣味という皆さんは何を連想しますか？カフェ巡りやスイーツ巡りなどありますがラーメン屋巡りが好きです。ラーメンは色々な味があります。味噌ラーメンが一番好きです。味噌味が売りのラーメン屋さんには必ずと言っていいほど食べに行きます。

ラーメンの魅力って季節関係なく食

## 私の趣味

べたくなるところですよ。暑い日も寒い日でもいつどこでも食べられて幸せを感じられる料理。どんなに疲れていても大好きなラーメンを食べたら元気にもなるし、各都道府県に必ずあるのでお出かけが立ち寄れます。味噌のラーメンが好きといつても他のラーメンを食べない訳でもなく、立ち寄ったお店のお勧めを食べたりもします。色々なラーメン屋さんを足で運んでいますがまだ発見できていないラーメン屋さんがあると思うので、皆さんにお勧め出来るラーメン屋さんを発掘していきたいと思っています。

ラーメン巡りを通して細かな違いに気付く事や、事前準備の大切さを学びました。仕事でも情報を確認しながら一つひとつの業務に向き合っていくって思っています。

# 万華鏡

「最近、気になること」といわれると、日々の診察の合間にも、ふと頭に浮かぶ話題がいくつもありません。世界情勢の揺らぎや日本の政策の行方、金や暗号資産の値動きの激しさなど、世の中は落ち着く暇がありません。一方でAが創業のスピードを飛躍的に高めつつあるというニュースには、医療に携わる者と

して希望を感じることもあります。個人的なことでは、自分自身の体調の変化や子供の成長を見守る日々の中でこれから子供が過ごす地域の治安や教育環境がどうなっていくのか、つい考えてしまいます。社会全体が大きく変わっていく中で家族の未来がどう形づくられていくのかは、やはり気になるどころです。

医療現場でも変化は進んでいて、当院でもAが記載忘れを教えるくれる機能が導入され、日々の業務にとても助けられています。こうした小さなサポートでも、現場の負担が軽くなると、患者さんと向き合う時

間や気持ちに余裕が生まれます。そして、精神科として気になるのは、Aが今後どのように診療や治療に関わっていくのかという点です。予後予測や問診支援など、すでに研究が進んでいる分野もあります。Aが、心に寄り添う営みは人間にしかできない部分が残っているはずで、Aと人がうまく協力しながら、より良い医療を作っていける未来を期待し、創造していきたいと思っています。

なお、この文章はAの補助を受けて作成されています。

## こちら編集室

日々の生活の中には、ちょっとした工夫で気持ちが軽くなる瞬間があります。たとえば、ため息が出てしまったときは「これは深呼吸のフリをした自動リラックス機能だ」と思ってみると、少しだけ前向きになれる。洗濯物を畳む力がわかない日は、「今日は畳んだことにする日」と割り切ってクローゼットに直行させるのも一つの手です。翌朝シワが気になったら「味のある服の日」と思えば大丈夫。スマホの通知が多いときは、「未来の自分へのドッキリ演出」と考えると、ほんの少しだけ気が楽になります。もちろん疲れている日は、ドッキリ企画は中止して通知オフで問題ありません。お茶を淹れる時間は、強制休憩ボタンとして活用できますし、忘れ物をした日は「脳がデータ整理中なんだな」と思えば、落ち込みすぎずに済みます。片づけが面倒なときは、「未来の自分にモテるため」と考えると、意外とやる気が出るものです。どれも小さな工夫ですが、日常の中に少しの笑いと余白をつくる助けになれば嬉しいです。

### 今月の予定 3月

- 4日 NST・褥瘡委員会
- 11日 診療会議
- 16日 労働衛生委員会
- 26日 峡西病院認知症疾患医療センター 院外研修会

### 今月の一枚

山中湖畔にて、富士山と夕日を撮りました。久し振りに家族でドライブに行き、楽しんできました。

### 「おあしす」に関するアンケートにご協力をお願いします

いつも「おあしす」をご愛読いただきありがとうございます。より良い広報誌を目指していくために、アンケートにご協力をお願いします。

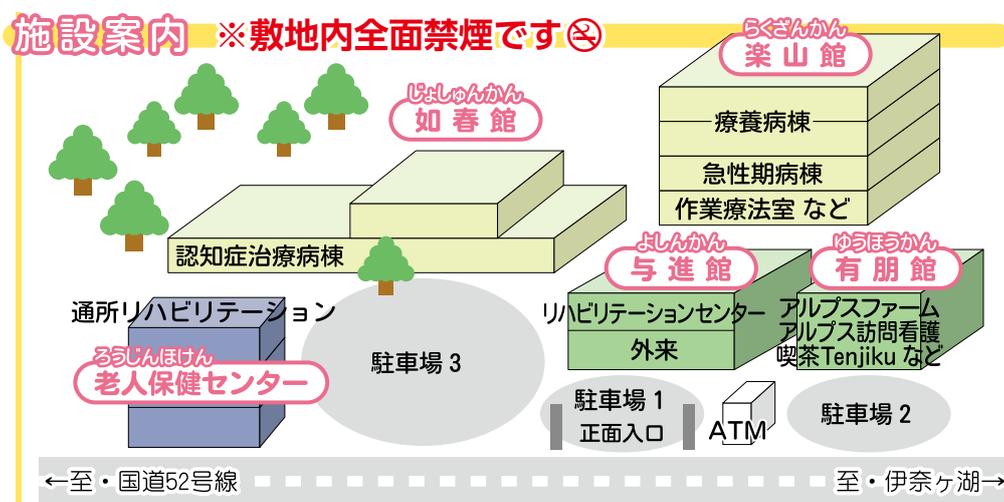
■ 下記QRコードからアンケートへの回答をお願いします。

### おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

通り道梅の香りにあいさされて	今福 和人
卒業のくる日成りし君が代を	大森真知子
彼岸花孫ほほえみし墓参り	カナメ
土筆つみ畑に散らし猫かじる	保坂五十鈴
桃の花三月見ごろの花見かな	渡辺 あき
大好きな笑顔に出逢いたいから	渡辺奈美子

※掲載は五十音順です。



- ### 交通案内
- JR中央線  
甲府駅より車で40分
  - JR身延線  
東花輪駅より車で15分
  - 中央高速  
甲府昭和ICより車で30分
  - 中部横断道  
南アルプスICより車で5分
  - 山交バス  
甲府-南アルプス市甲西支所行き (十五所経由) 鵜沢営業所行き (西野経由) 鵜沢営業所行き 小笠原下仲町バス停徒歩5分